

## 令和7(2025)年度 経営再建計画

### 年度目標

○収入の確保（賃料収入）	10億21百万円
○地下街の活性化（入居率）	100%
○支出の削減（一般管理費）	59百万円
○収益の確保（税引前当期純利益）	2億15百万円

### 事業方針

景気や個人消費の回復については先行き不透明な面があり、テナントの出店意欲も旺盛とはいえないが、2025年度は、大阪・関西万博が開催され、心齋橋エリアにもこれまで以上に多くの人々が訪れることが期待される。この賑わいを当地下街の活性化にも結び付けることで、2025年度の命題である中期経営計画の目標達成、さらには利益水準のコロナ禍前への回復に向けて、地下街収入の増加に努め、支出においても売上原価、一般管理費の縮減に努める。

### 重点施策

地下街運営事業者及び施設管理事業者との連携強化を前提として、下記の重点施策に取り組む。また、地下街の運営管理と密接に関連する道路管理者などとも十分協議し取り組む。

- 地下街収入の確保
  - ・空き区画の解消
  - ・テナント賃料収入以外の収入確保
  - ・地上の人流を地下街に呼び込む方策の推進（特に万博期間を重点的に）
- 地下街施設の適正な維持管理
  - ・中長期修繕計画に基づく電気・機械設備及び土木・建築施設の更新
- 効率的な業務遂行
  - ・限られた人員による運営に支障がない業務効率化
  - ・光熱水費などの経費削減

### 収支

地下街収入については、地下街運営事業者との連携のもとで、正規契約での入店などを進め、前年度を超える目標とする。

収支計画としては、2025年度の売上高は14億29百万円、地下街収入13億74百万円、うち賃料収入は10億21百万円とし、税引前当期純利益については2億15百万円を目標とする。

### 地下街事業

テナント売上については、政治・社会情勢の不確定要素はあるものの、個人消費の維持・拡大及び大阪・関西万博の開催によって、回復基調が続くと期待される。テナント、地下街運営事業者及び当社の3者が連携してクリスタ長堀のブランドイメージ向上とテナント売上増加に向けて取り組んでいく。

（販売促進の基本方針）

心齋橋エリアに集まるインバウンド等の誘客とLINE友だち事業や動画を用いた店舗紹介による施設のファンづくりを柱として販促事業に取り組む。